

## 議題提案書

### 1 基本情報

|        |                    |
|--------|--------------------|
| 議題種別   | 協議事項               |
| 議題名    | N 連の予算不足に対する対策について |
| 提案者の氏名 | 今西浩明               |
| 提案者の所属 | NGO 側連携推進委員会       |
| 提案者の役職 | 連携推進委員             |

### 2 議題提案の背景

ここ数年、N 連予算については、新規申請案件数に対して予算不足が生じ、今年度については継続案件の翌年度への先送りを通じて新規案件の予算枠を確保する、新規案件はすべて単年度案件とするなどの特別な対応がとられている。結果的に、民連室のご尽力により、昨年度に続いて、今年度の N 連予算はかなりの額が確保できる見込みとなっている。

しかしながら、基本的に NGO 側の N 連に対する要望に対して、現在の N 連予算が十分でないのは明らかであり、昨年度、今年度のような通常ではない状況をさけるべくなんらかの対策を講じる必要がある。

### 3 議題の論点（連携推進委員会で議論したい点）

今回、議論したいのは以下の 3 点である。

- (1) 現在の N 連予算を如何に増やすことができるか？  
外務省としてのお考えをお聞かせいただいた上で、NGO 側として行うべきこと、協力できることについて意見交換をしたい。
- (2) 今後の事業選定の方法について  
N 連予算枠がいくらになるとしても、直ちに NGO 側の N 連要望枠を満たすだけの予算が確保できることは期待できない。その前提で、ではどのような N 連採択に向けた方策が考えられるのか？そのために、NGO 側が協力できることは何なのかについて意見交換をしたい。
- (3) 通常とは異なる対応の際の負担軽減策について  
昨年度、今年度のような通常とは異なる対応を依頼された場合の MGO 側の事務手続きにかかる負担はかなりのものであり、そのことが実施中の事業にも少なからず影響があることは想像に難くない。ついては、このような緊急な対応を行わなくてはならない際に、以下に NGO 側の追加の負担を軽減するための導入可能な方策について、意見交換を行いたい。

### 4 出席を希望する外務省部局または担当者

外務省 民間援助連携室 松田室長

以上